

【団体名】 西三河野生生物研究会

【事業名】 「夏休み親子教室 2013」

【事業の目的】 生き物の研究者から講演を聴いたり、実験・実習などを体験したりすることから、身近な地域の自然や生き物などの様子について知り考える機会とする。

【実施内容】

7月27日（土）第1日目

「昆虫の話」大平仁夫先生（三河昆虫研究会会長）

「水生昆虫の世界」青木舜先生

「探してみよう！身近な発光生物」大場裕一先生（名古屋大学大学院）

「セミの抜け殻からわかる都市環境」金田吉高先生（三河昆虫研究会）

「地元にもあるよ、世界に誇る宝の植物たち～東海丘陵要素植物～」

吉鶴靖則先生（大府市自然体験施設二ツ池セレクトナ）

7月28日（日）第2日目

「カメってどんな生きもの？～安城のカメからかんがえる～」

矢部隆先生（愛知学泉大学）

「植物標本の作り方」花井隆晃先生（テクノ中部）

「田んぼのカエルを見てみよう」島田知彦先生（愛知教育大学）

「生き物ペパークラフト」河合倫恵先生（今池小学校）

「コンデジで撮れる顕微鏡写真 身近な水の中にいる小さな生き物たちの世界」

小鹿亨先生（梨の里小学校）

講座以外にも次のような展示やコーナーを開設した。

○生態写真の展示コーナー

○ミニ写真展「東海丘陵要素植物」・東海地方の化石展

○「生きたカメを展示！」

○「三河地方の田んぼのカエル」ポスター

○世界と身近な昆虫展 山崎隆弘先生（三河昆虫研究会副会長）

○青木先生の夏休みの研究相談コーナー

○イラギモクセイの葉脈標本づくり・書籍・参考書展示コーナー



【成果・課題】

実に強力な会員講師陣によって、きわめて豪華で充実した講座や行うことができました。その結果として、参加者には身近な生き物や自然環境に興味を持ってもらうことができました。

今回の会場となった秋葉環境学習センターは、安城市の市街地にありながら、隣接する秋葉公園の林や池を観察するフィールドとして活用ができ、人工的な環境といえ現地での観察ができたのは成果でした。秋葉環境学習センターのスタッフのみなさんにも、全面的なバックアップをいただきました。しかしながら、講座内容をうまく情宣できずに、なかなか来場者を増やせず講師のみなさんに申し訳ありませんでした。より早くに講座内容を確定して複数の手段で、宣伝することが必要であると思います。また、予算が十分ではなく、安定的な運営資金の確保も大きな課題です。